

国指定重要文化財

どうやまおうじじんじゃほんでん

堂山王子神社本殿（附棟札8枚）



田村市船引町門沢字堂山地内に所在する堂山王子神社は、桁行5間（11.21間）、梁間4間（9.06間）、寄棟造、禅宗様の荘厳な建造物です。もとは堂山寺の観音堂で、明治3（1870）年に神社となりました。その建立年代は、昭和43（1968）年から昭和45（1970）年にかけておこなわれた堂山王子神社修理の際に、明応7（1498）年銘の納札が発見されていることから、遅くともそれ以前であることがわかっており、福島県中通り地方に所在する国指定重要文化財の建造物では最も古い歴史をもっています。

本殿附棟札8枚からは、修繕を繰り返しながら建物を維持してきた地域の人々の親しみと愛着の思いが伝わってきます。

※棟札8枚

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 修覆延享元甲子四月八日の記があるもの | *延享 元（1744） |
| 2 修覆安永三年甲午四月八日の記があるもの | *安永 3（1774） |
| 3 修覆寛政二庚戌年六月十七日の記があるもの | *寛政 2（1790） |
| 4 修覆享和三亥年三月十有七日の記があるもの | *享和 3（1803） |
| 5 修覆文化十四丑年四月八日の記があるもの | *文化14（1817） |
| 6 修覆文政十二丑年三月十七日の記があるもの | *文政12（1829） |
| 7 修覆天保十三寅壬三月十七日の記があるもの | *天保13（1842） |
| 8 修覆嘉永六癸丑三月十有七日の記があるもの | *嘉永 6（1853） |